

# 第162期 決算のご報告

2023年4月1日

▶ 2024年3月31日

## CONTENTS

ADEKAグループ経営理念  
事業紹介  
株主の皆様へ  
報告セグメント別概況  
中期経営計画『ADX 2026』  
トピックス  
ADEKAの成長戦略  
財務・非財務ハイライト  
会社情報  
テレビ番組 提供開始のお知らせ

**ADEKA**  
Add Goodness

証券コード 4401

# ADEKAグループ経営理念

新しい潮流の変化に鋭敏であり続ける  
アグレッシブな先進企業を目指す  
世界とともに生きる



## ADEKAグループサステナビリティ基本方針

ADEKAグループは、公正・透明な企業活動を通じて、「技術」と「信頼」でステークホルダーの期待に応え、持続可能な社会に貢献します。

ADEKAグループサステナビリティ基本方針は、持続可能な社会への貢献という観点から当社グループがサステナブルな経営を通じて、社会・ステークホルダーの期待に応え、企業価値向上を目指す基本姿勢を表現したものです。この基本方針のもと社員一人ひとりがサステナブル経営を実践し、サプライチェーン全体で企業の社会的責任を果たすとともに、様々な社会的課題に対し「素材」メーカーとして価値を提供します。さらには変化し続けるステークホルダーの期待に応え、本業を通じて持続可能な社会に貢献することで企業価値を高めていきます。

## ありたい姿

# ADEKA VISION 2030

～持続可能な社会と豊かな暮らしに貢献する Innovative Company～

## 中期経営計画

# ADX 2026

■ 基本方針  
サステナビリティの推進により、社会価値の向上と持続的な成長を実現する。  
～稼ぐ力・サステナビリティ・強靱な経営基盤～

- 基本戦略
- 稼ぐ力の強化、高収益構造への転換
  - 環境貢献製品の拡大、および事業構造の変革によるGHG削減
  - 経営基盤の強靱化



すべてのものは、今より良くできる。  
暮らしに、さらなる豊かさや便利さ、安心をもたらすために。  
素材に、さらなる機能性や耐久性、環境性能をプラスする。  
私たちは、素材の価値を高める。  
そして、素材を「素材」に変える。  
私たちは、アデカです。

## 事業紹介

### 化学品事業

<p>■ 樹脂添加剤</p> <p>プラスチックの高機能化・長寿命化・資源循環に欠かせない各種添加剤を提供しています。</p>  <p>製品 ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤ほか</p>	<p>■ 情報・電子化学品</p> <p>ICT社会に欠かせない先端技術を駆使した製品を提供しています。</p>  <p>製品 高純度半導体材料、光酸発生剤、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂ほか</p>	<p>■ 機能化学品</p> <p>インフラから化粧品、トイレタリーなど様々な分野に高付加価値製品を提供しています。</p>  <p>製品 エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤ほか</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 食品事業

加工油脂や加工食品などを提供し、安心・安全で豊かな食生活の実現に貢献しています。



製品 マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、プラントベースフードほか

### ライフサイエンス事業

農薬をはじめ、医薬や動物薬などを提供しています。また、再生医療、予防医療、生活の質向上をキーワードに研究開発を進めています。



製品 農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料ほか

### その他の事業

工場施設や設備プラントの設計、設備メンテナンス、物流業務、保険代理業務を中心に事業を進めています。



サービス プラントの設計、工事管理、物流業、倉庫業、不動産業ほか

# 株主の皆様へ

## さらなる変革を標榜した新中期経営計画『ADX 2026』を2024年4月から開始

### ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
 当社グループの第162期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の事業概況についてご報告申し上げます。  
 当期における世界経済は、先進国を中心に低い成長率に留まりました。世界的な金融引き締めやウクライナ・中東情勢の影響、さらには中国経済の減速が不安視され、先行き不透明な状況で推移しました。  
 当社グループ事業の主要対象分野である自動車関連分野は、緩やかながらも着実に生産回復が進みました。ICT・家電分野は、個人消費の減退や買い替えサイクルの長期化により、スマートフォンやパソコンの販売低迷が続きました。食品分野は、インバウンドの急増を追い風に土産物や外食の需要回復が続きましたが、消費者の節約・低価格志向を背景に菓子等の嗜好品は厳しい状況となりました。農業分野は、天候不順や過年度の流通在庫の影響から、国内外ともに農業需要は総じて弱含みで推移しました。

### 中期経営計画『ADX 2023』において、半導体材料へ積極的に投資を実行

このようななか、当期は中期経営計画『ADX 2023』の最終年度となり、次の成長ステージを見据えながら、各事業にお

いて施策を遂行しました。樹脂添加剤では、循環型社会の実現に貢献する「アデカシクロイド」シリーズにおいて、新たにリサイクル樹脂向けの光安定剤ワンパックタイプを市場投入しました。情報・電子化学品では、日本、韓国、台湾において半導体材料の投資を積極的に実行しました。韓国では全州第三工場内に先端半導体向け材料の新製造棟建設を、日本では久喜地区開発研究所内に情報・電子化学品の研究開発力強化を目的として新研究棟建設を決定しました。食品事業では、収益基盤をさらに強化すべく国内販売体制を見直し、連結子会社を再編しました。また、プラントベースフード「デリプランツ」シリーズのおいしさを実感していただく企画として、原宿に「アデカフェ〜Delicious & Sustainable〜」を期間限定でオープンし、本製品を使用したオリジナルメニューを展開しました。ライフサイエンス事業では、アジュバント等の添加剤やバイオスティミュラントの製造・販売会社であるINTERAGRO (UK) LTD.の全発行株式を、NICHINO EUROPE CO.,LTD.が取得しました。また、インドにおいて、新規水稲用殺虫剤ベンズピリモキサン等、複数の農業原体を製造できるマルチパーパスプラントが竣工しました。グループシナジーの創出では、当社と日本農業の技術を結集した共同研究において、抗寄生虫剤として期待される化合物群を見出し、2023年7月に本件特許出願4報が世界的財産機構より国際公開されました。サステナビリティの取り組みでは、「2030年：GHG排出

量46%削減（2013年比）、2050年：カーボンニュートラル」の実現に向けて、インターナルカーボンプライシング制度と再生可能エネルギー由来電力の導入を開始しました。

### 営業利益、経常利益は過去最高を更新 当期の期末配当金は10円増配

当期の業績につきましては、売上高は3,997億70百万円（前期比0.9%減）、営業利益は354億28百万円（同9.4%増）、経常利益は357億63百万円（同9.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は229億77百万円（同37.0%増）となり、営業利益、経常利益は過去最高を更新しました。  
 当期の期末配当金につきましては、当期の連結業績、財務状況等を総合的に勘案し、当初予想（2023年5月12日公表）の1株につき40円から10円増配し、50円とさせていただきます。年間配当金につきましては、既の実施した中間配当金40円と合わせて1株につき90円（前期70円）となります。  
 次期の配当金につきましては、1株につき年間90円（中間45円）を予定しています。

### 社会課題解決に向けた製品開発を拡大し、持続的に成長できる企業へ

当社グループは、さらなる変革を標榜した新たな中期経営計画『ADX 2026』を2024年4月からスタートしました。変化に

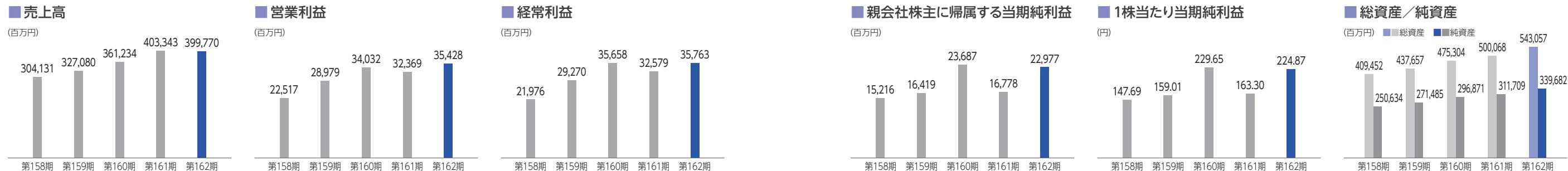
柔軟に対応できる強靱な経営基盤のもと、社会課題の解決に資する環境貢献製品の拡大を成長機会として稼ぐ力を強化し、持続的な成長を続けてまいります。  
 また、安定配当の方針のもと配当性向40%以上を掲げ、持続的な成長と株主還元の両立を図ってまいります。  
 株主の皆様におかれましては、当社グループの事業及び経営につきましてご理解いただき、今後とも一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2024年6月

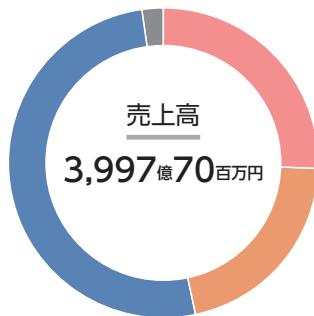


株式会社 ADEKA  
 代表取締役社長  
 兼社長執行役員  
 城 詰 秀 尊

### 財務ハイライト ※第160期は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載しています。



# 報告セグメント別概況



## 第162期報告セグメント別売上高構成比

化学品事業	51.1%
食品事業	21.0%
ライフサイエンス事業	25.8%
その他の事業	2.1%

### 化学品事業

売上高 2,041億30百万円 (前期比3.6%減)  
営業利益 236億99百万円 (前期比9.8%減)



※上記写真は当社製品の用途例をイメージしたものではありません。

### 樹脂添加剤

自動車向けでは、光安定剤の販売が好調に推移し、核剤、高機能可塑剤の販売も堅調でした。建材向けでは、塩ビ用安定剤の販売が低調に推移しました。食品包装向けでは、透明化剤の販売が低調でした。ポリオレフィン樹脂に使用されるワンパック顆粒添加剤や酸化防止剤は販売に苦戦しました。

難燃剤は、低調が続いていた家電筐体等に使用されるエンジニアリングプラスチック向けの販売が2023年末以降回復基調に転じたほか、ポリオレフィン樹脂向けもEVでの販売が拡大しました。

### 情報・電子化学品

半導体向けでは、先端フォトレジスト向け光酸発生剤の販売が拡大し、先端DRAM向け高誘電材料の販売も好調に推移しました。一方で、旧世代製品向け高誘電材料の販売が低調に推移しました。

ディスプレイ等のエレクトロニクス関連向けでは、パネル市況が回復し、カラーフィルター向け光重合開始剤の販売が好調に、ブラックマトリクス樹脂とエッチング薬液の販売も堅調に推移しました。一方で、パネル生産の中国シフトが進み、光学フィルム向け光硬化樹脂の販売が低調でした。また、プリント基板に使用される電子部品用エッチング薬液の販売も低調でした。

### 機能化学品

自動車向けでは、エンジンオイル用潤滑油添加剤の販売が好調に推移しました。また、自動車の構造用接着剤向けエポキシ樹脂や車載用電子部品向けエポキシ樹脂接着剤の販売も堅調でした。

建築塗料向けでは、反応性乳化剤の販売が好調に推移しました。化粧品向け特殊界面活性剤は販売が低調でした。

工業用途で使用されるプロピレングリコール類は販売が低調でした。過酸化製品は下期以降に市況が持ち直し、販売が堅調でした。

### 食品事業

売上高 840億12百万円 (前期比1.8%増)  
営業利益 41億11百万円 (前期は24億3百万円の営業損失)



国内の製パン、製菓用マーガリン、ショートニング類は、汎用品を中心に販売数量が減少しました。一方で、土産菓子向けのマーガリン類やフィリング類の販売は好調に推移しました。食品ロス削減に貢献する機能性マーガリン「マーベラス」シリーズでは、新製品の販売が好調でした。食の多様性や環境に配慮したプラントベースフード「デリプランツ」シリーズは、普及浸透に向けた提案強化により国内外での販売が伸長しました。

海外では、東南アジアや中国での販売が堅調に推移し、また価格改定が進捗したこともあり、売上、利益ともに回復が進みました。



※上記写真は当社製品の用途例をイメージしたものではありません。

### ライフサイエンス事業

売上高 1,030億21百万円 (前期比0.9%増)  
営業利益 59億7百万円 (前期比24.2%減)



※第160期は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載しています。

農業は、海外では、世界最大の農業市場であるブラジルで、競争激化に伴う一部ジェネリック品目の価格下落の影響等から、販売に苦戦しました。北米・欧州・アジアでは、販売が堅調に推移しました。

国内では、天候不順や過年度流通在庫の影響を受けたものの、前期に実行した価格改定の効果が通年寄与したほか、ベンズピリモキサン(商品名「オーケストラ」)をはじめとする主力自社開発品目の普及拡販に努めた結果、販売が堅調に推移しました。

医薬品は、外用抗真菌剤「ルリコナゾール」の中国での終売の影響により、販売が低調に推移しました。



※上記写真は当社製品の用途例をイメージしたものではありません。

# ADEKAグループ 中期経営計画 (2024年度~2026年度)『ADX 2026』

## 中期経営計画：『ADX 2026』について

### ■名称

『ADX 2026』 (読み方：アデックス にせんにじゅうろく)

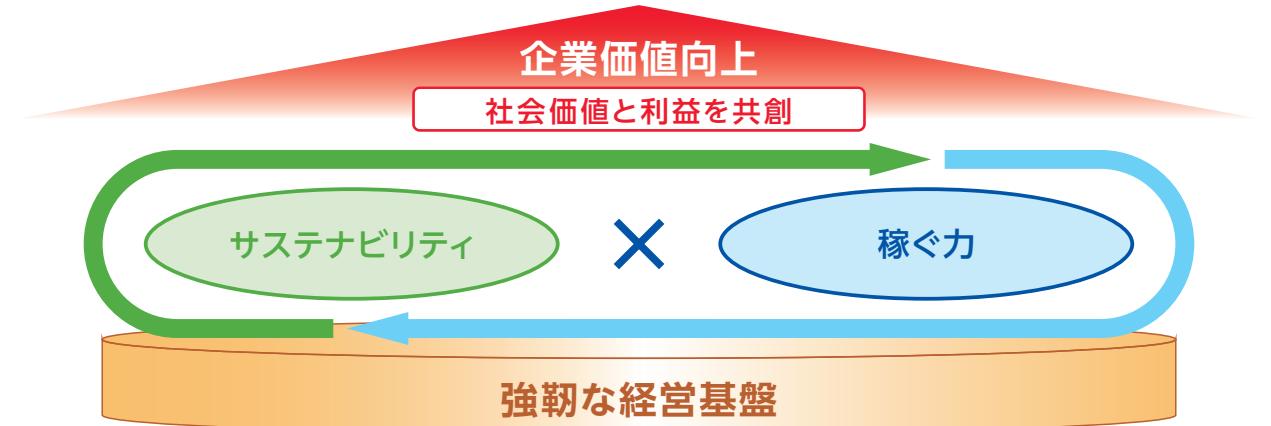
「ADX」は、持続的な成長に向けたADEKAの変革する意志「ADEKA Transformation」を表しています。2030年のありたい姿である『ADEKA VISION 2030 ~持続可能な社会と豊かな暮らしに貢献する Innovative Company~』の実現に向けて、さらなる変革を実行する3年間と位置付けています。

### ■位置付け



### ■基本方針

サステナビリティの推進により、社会価値の向上と持続的な成長を実現する。  
~稼ぐ力・サステナビリティ・強靱な経営基盤~



変化に柔軟に対応できる強靱な経営基盤を構築し、環境貢献製品の拡大を成長機会として稼ぐ力を強化し持続的な成長を実現します。

### ■経営指標

財務指標 (2026年度)	営業利益	530億円(売上高5,000億円)
	ROE	11.0%
	ROIC	10.5%
サステナビリティ指標 <sup>*1</sup> (2026年度)	環境貢献製品売上高	1,150億円(2019年度比2.5倍)
	GHG排出量	199千t-CO <sub>2</sub> e <sup>*2</sup> (2013年度比13%削減)
	女性管理職比率	6%以上(単体)
設備投資額		750億円(3カ年)
配当方針(配当性向)		40%以上 <sup>*3</sup>

<sup>\*1</sup> ADEKAグループ サステナビリティ優先課題に関する指標

<sup>\*2</sup> CO<sub>2</sub> equivalent (CO<sub>2</sub>換算値)。様々な温室効果ガスの量をCO<sub>2</sub>相当量に換算して統一的に表す単位

<sup>\*3</sup> 適切な還元を総合的に勘案し、安定配当の維持を基本とする

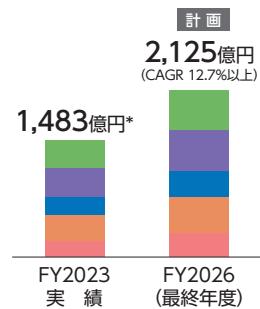


## ■基本戦略

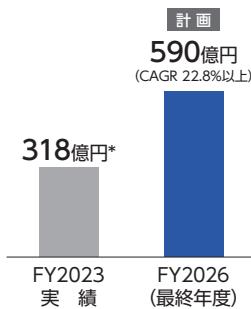
### 稼ぐ力の強化、高収益構造への転換

収益の柱である情報・電子化学品に積極的に経営資源を投下していく一方、将来を見据えた事業の再構築を進めます。各事業の成長戦略を遂行し収益性向上を図るとともに、将来の成長の柱となる新製品の拡大や新規事業を推進します。また資本効率性の向上に向けた施策を実行し、当社の稼ぐ力の向上を図ります。稼ぐ力の強化により、規模拡大から利益を重視した事業成長を図ります。

#### 戦略製品売上高 (25製品群)



#### 新製品売上高



特に、情報・電子化学品と食品で大きく伸ばす計画



\* FY2023実績は、戦略製品、新製品ともに製品見直しを適用後の数値を記載 \* 金額は億円未満を切り捨てて表記

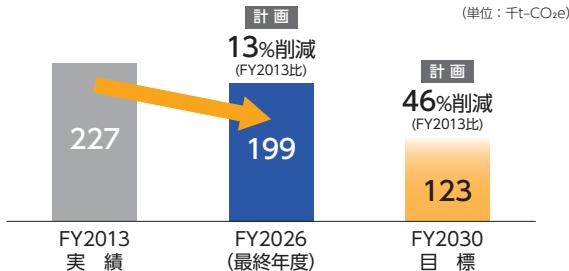
### 環境貢献製品の拡大、および事業構造の変革によるGHG削減

環境貢献製品の拡大と創出を進め、社会課題解決の機会を取り込んだ成長戦略を遂行します。また、カーボンニュートラルの実現に向けて各事業でGHG排出量削減に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。DE&I (ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン) を推進し、多様な人財活躍の機会を創出するとともに、人権デュー・ディリジェンスの実行により、サプライチェーン全体で人権を尊重します。

#### 環境貢献製品売上高



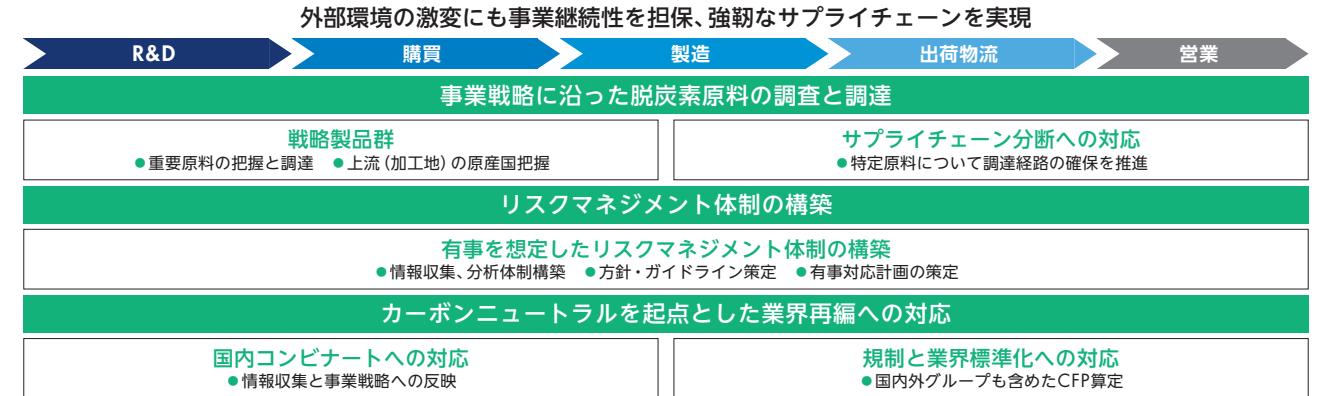
#### GHG排出量



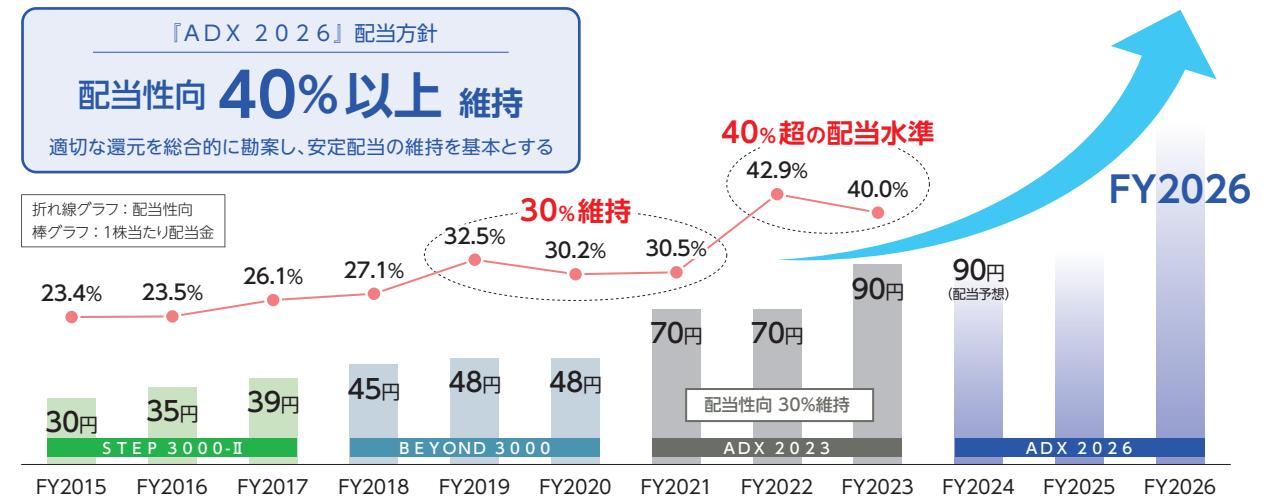
\* FY2023実績は、環境貢献製品の見直し (追加) を適用後の数値を記載 \* 金額は億円未満を切り捨てて表記

### 経営基盤の強靱化

各事業における戦略製品群の安定生産に向けて、重要原料を把握・管理し、外部環境が激しく変化した際にも事業継続できる強靱なサプライチェーンを構築します。人的資本活用の基盤を整備し、各事業の成長ステージにあわせた人財の配置・育成を推進します。デジタル技術を取り入れ、継続的に業務改革を進めていきます。



## ■配当方針



## A D E K A の成長戦略

## 半導体材料

## 事業拡大に向けた積極的な投資

当社の連結子会社であるADEKA KOREA CORPORATIONは、R&D CENTERの拡大移転を完了し、2024年3月29日に開所式を行いました。

当社グループの強みである半導体メーカーと同じレベルの成膜評価と同じスピードでの開発力を一層強化するべく、開所したADEKA KOREA R&D CENTER (韓国・京畿道華城市) は、延床面積が従来比7倍の規模の施設を取得し設備を整えてまいりました。また、従来比2倍となるクリーンルームには、ALD成膜・評価装置の設置台数を拡充し、最先端の半導体成膜材料における評価・分析のスペシャリティとして機能します。加えて、2030年までに装置と人員を倍増させる計画です。

なお、当社グループにおける新規半導体材料の研究開発は、引き続き、日本の尾久中央開発研究所 (東京都荒川区) で行います。2026年初頭には、久喜地区開発研究所 (埼玉県久喜市) 内に新研究棟を建設・移転予定であり、主力製品である半導体メモリ、ロジック半導体の前工程向け材料のシェア拡大はもとより、後工程材料へと領域拡大を目指します。

中期経営計画『ADX 2026』では、半導体材料を主とした当事業の拡大により、“稼ぐ力の強化”を図ります。3カ年における設備投資は、総額750億円のうち情報・電子化学品事業では158億円、研究開発投資\*は情報・電子化学品事業を中心に197億円を投じる計画です。

※久喜地区開発研究所の新研究棟建設費用 (約100億円) を含む。

## 「日経半導体株指数」の構成銘柄に選定

当社は、2024年3月25日に算出・公表が開始された「日経半導体株指数」の構成銘柄に選定されました。「日経半導体株指数」は、東京証券取引所に上場する半導体関連銘柄 (素材関連銘柄も含む) のうち、時価総額が大きい30銘柄で構成されたものです。



詳しくは、IRライブラリ、サステナビリティをご覧ください。



IRライブラリ <https://www.adeka.co.jp/ir/library/>



サステナビリティ <https://www.adeka.co.jp/csr/>



## プラントベースフード

## ADEKA独自の「ReTERA 技術」で、“プラントベースフードの常識を覆すおいしさ”を実現！

2024年度の新製品として、プラントベースフード「デリプランツ」シリーズでは、インバウンドで成長が見込まれるホテル、レストラン、カフェ (HoReCa) 市場などを対象に、“ダイスカット加工で使いやすい”「デリプランツ チーズ (ダイス)」など、2製品を新たにラインナップしました。また「デリプランツ」シリーズ全7製品を食物アレルギー特定原材料8品目不使用に対応しました。動物性食品 (乳・肉) の持つコクや厚みを、動物性原料を使用せずに再現するADEKA独自の新技术「ReTERA 技術」で植物性由来原料ならではのおいしさと機能性を広く提案し、プラントベースフードの可能性を上げます。

## プラントベースフード「デリプランツ」特設サイトをリニューアル

製品情報だけでなく、当社のプラントベースフードに関する取り組みをコラムとして掲載していますので、是非アクセスしてください。

<https://www.adeka.co.jp/food/deliplants/index.html>



## 環境・エネルギー

## 「SPAN」開発担当者のインタビューがYouTube番組「理系の歩き方」に掲載

当社 環境・エネルギー材料研究室長 攪上 健二のインタビュー動画が、産経新聞社とアカリクが発信するYouTube番組「理系の歩き方」に掲載されました。

当社は次世代二次電池の中で「軽い」を特長の1つとするリチウム-硫黄 (Li-S) 二次電池に着目し、その正極材となるメタルフリー硫黄系ポリマー「硫黄変性ポリアクリロニトリル (SPAN) : アデカアメラサ SAM シリーズ」を開発しています。また、「SPAN」の製法と量産化の検討を世界に先駆けて進め、年間100kg以上の合成に成功しており、さらなるスケールアップに挑戦しています。

動画では、当社が実用化に向けて開発を進めている次世代二次電池材料「SPAN」のご紹介や開発プロセス、今後の展望などをお話していますので、ぜひご視聴ください。

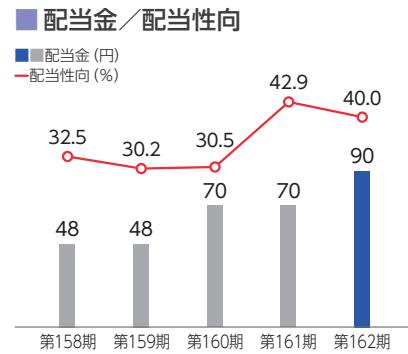
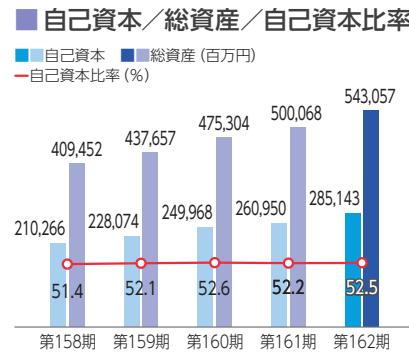
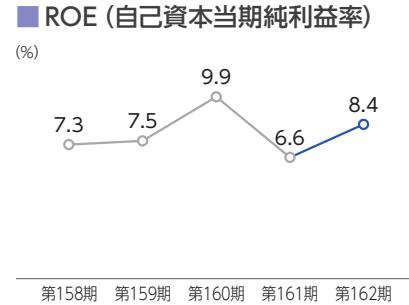
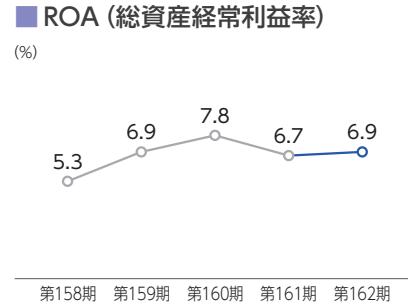
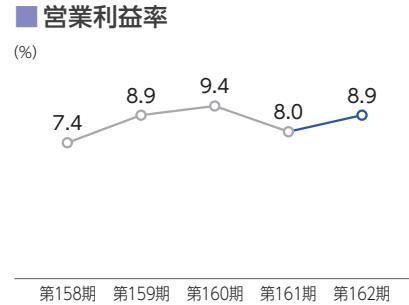
▼詳しくはこちら



# 財務・非財務ハイライト

## 財務ハイライト

※第160期は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載しています。



2024年度を初年度とする中期経営計画「ADX 2026」では、適切な還元を総合的に勘案し安定配当の維持を基本とする考え方のもと、配当性向40%以上を掲げています。

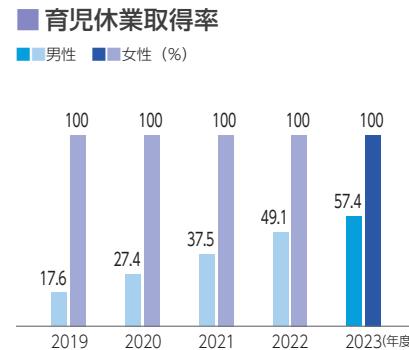
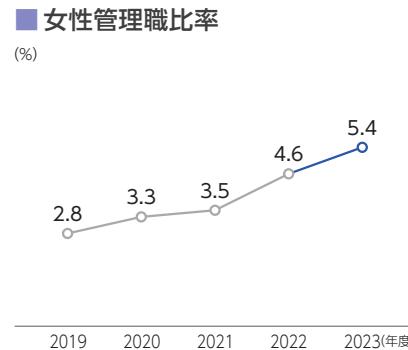
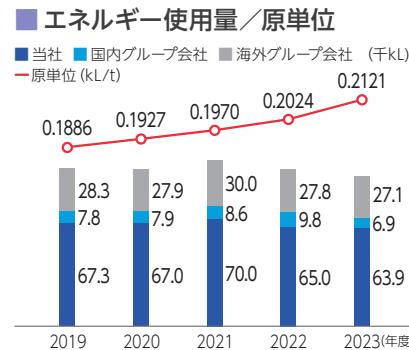
内部留保資金につきましては、情報・電子化学品をはじめとする成長領域への投資やカーボンニュートラルの実現に向けた環境投資等に活用してまいります。

当期の期末配当金につきましては、当期の連結業績、財務状況等を総合的に勘案し、当初予想(2023年5月12日公表)の1株につき40円から10円増配し、50円とさせていただきます。

年間配当金につきましては、既に実施した中間配当金40円と合わせて1株につき90円(前期70円)となります。

次期の配当金につきましては、1株につき年間90円(中間45円)を予定しています。

## 非財務ハイライト



※2023年度は、改正省エネ法に基づき算出しております。2024年6月時点の暫定値であり、今後修正の可能性があります。

# 会社情報

## 会社の概要 (2024年3月31日)

設立 1917年1月27日  
 資本金 23,048,145,172円  
 従業員数 5,512名(連結) 1,815名(単体)

## 取締役 (2024年6月21日)

代表取締役社長兼社長執行役員	城 詰 秀 尊
代表取締役兼専務執行役員	富 安 治 彦
取締役兼執行役員	志 賀 洋 二
取締役兼執行役員	正 宗 潔
取締役(社外)	遠 藤 茂
取締役(社外)	堀 口 誠
取締役(社外)	高 橋 直 也
取締役 常勤監査等委員	田 谷 浩 一
取締役 監査等委員(社外)	奥 山 章 雄
取締役 監査等委員(社外)	平 沢 郁 子

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 6月  
 基準日 定時株主総会・期末配当：3月31日  
 中間配当：9月30日  
 公告方法 電子公告。但し、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合、日本経済新聞に掲載します。  
 単元株式数 100株  
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

## 株式の状況 (2024年3月31日)

発行可能株式総数 400,000,000株  
 発行済株式総数 103,768,142株  
 当期末株主数 8,929名(中間期末比1,933名増)

## 大株主(上位10名)

順位	株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,416	11.13
2	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	10,475	10.21
3	朝日生命保険相互会社	4,053	3.95
4	みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者株式会社日本カストディ銀行	3,770	3.68
5	ADEKA取引先持株会	3,147	3.07
6	全国共済農業協同組合連合会	2,334	2.28
7	農林中央金庫	2,244	2.19
8	日本ゼオン株式会社	2,188	2.13
9	THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	2,009	1.96
10	昭和興産株式会社	1,870	1.82

(注)当社は、自己株式(1,208,644株)を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 株式事務手続きのお問い合わせ先

#### 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

- 証券会社の口座に記録された株式に関するお問い合わせ先  
株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。
- 特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ先  
三井住友信託銀行株式会社(特別口座管理機関)にお申し出ください。

#### 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## テレビ番組 提供開始のお知らせ

2024年5月からBSテレ東のニュース番組「日経ニュースプラス9」において、番組スポンサーとなりました。番組中に、昨年好評を博したテレビCM「素財姫（ADEKAダンス）篇」が流れますので、ぜひご覧ください！

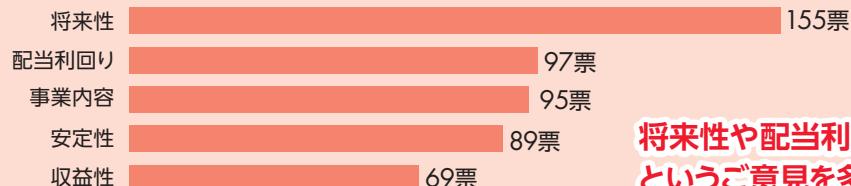
番組名	日経ニュースプラス9
放送局	BSテレ東 (BS7ch、全国放送)
放送時間	月曜日～木曜日 21:00～22:00、金曜日 21:54～22:54
提供期間	2024年5月1日(水)～
CM	素財姫（ADEKAダンス）篇 ※毎週月～金曜日にCMが放送されるほか、当社名の提供クレジットが入ります。



## アンケート結果のご報告

前回発行の第162期中間決算のご報告にてアンケートを実施いたしました。多くのご回答誠にありがとうございました。一部内容を抜粋しご報告いたします。

**Q. 当社の株式を購入された理由は何ですか？**（複数回答可）



**将来性や配当利回り、事業内容などが魅力的  
というご意見を多くいただきました。**

## ホームページのご案内

株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

くらしのなかのADEKA  
[https://www.adeka.co.jp/special\\_contents/](https://www.adeka.co.jp/special_contents/)



IRページ  
<https://www.adeka.co.jp/ir/>



### 表紙デザインコンセプト

ADEKAは『Add Goodness』をコーポレートスローガンに、“素財”（価値ある素材）の提供を通じて豊かなくらしへ貢献しています。表紙では、私たちの扱う“素財”を、身のまわりの様々なところにプラスすることで、“くらしをより良く”している様子をコーポレートカラーの積み木に見立てて表現しました。



株式会社 ADEKA  
〒116-8554 東京都荒川区東尾久七丁目2番35号  
TEL. 03-4455-2801